

政策名	4環境にやさしい港		担当課	企画調整室 環境担当課長	連携担当課
基本施策名	05人と自然にやさしい港湾環境づくり				
個別施策名	17良好な港湾空間を維持・創出する		連絡先	052-654-7819	
事務事業名	09港湾環境啓発活動の推進				

### 1 PLAN(目的・概要)

目的	県市民及び港湾関係者に名古屋港の環境への取組みについて関心を持ってもらうようにします。	事業期間	平成16年度～継続
概要	環境学習への協力や各種イベント等の機会を活かし、パンフレット配布等の環境啓発活動を行います。	根拠法令・要綱等	
		実施義務	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無

### 2 DO(実施)

21年度の実施内容 【及び22年度の実施予定】	H21年度:環境デーなごや、環境学習、パンフレット作成 H22年度:環境デーなごや、メッセなごや、COP10、パンフレット作成							
活動指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)	
環境啓発活動実施回数	単位	目標	4	4	2	3	2	各種イベント等において実施環境啓発活動の回数
	回	実績	4	4	2			
事業費	単位	目標						
		実績						
人員 正規職員	単位	千円	290	1,224	570	3,941		
		人	0.10	0.10	0.10	0.57		
嘱託職員 人件費相当額	単位	千円	869	877	858	5,003		
		千円	1,159	2,101	1,428	8,944		
事業費・人件費の合計								

### 3 CHECK(検証)

決算ベース(H21は見込) ← 予算ベース

成果指標	年度	19	20	21	22	中間目標 24	備考(指標の算定方法など)		
パンフレット等の受取人数	単位	目標	2,000	2,000	1,000	4,800	1,200	名古屋港の環境への取組を紹介したパンフレット等を受け取った人数 ※22年度はCOP10開催年	
	人	実績	2,000	1,900	750				
	達成率(%)	100.0	95.0	75.0					
観点	単位	目標						現状の「見える化」	
		実績							
	達成率(%)								
必要性	観点	課題の有無	有・(無)				現状の「見える化」		その他特記事項
	組合関与の必要性	有・(無)	有・(無)				・名古屋港の環境への取組みについて積極的にPRし、環境への関心を持ってもらうために必要な事務事業です。		
	目的・水準の妥当性	有・(無)	有・(無)						
有効性	成果の達成度	有・(無)	有・(無)				・環境イベントを活用することにより、効果的に環境啓発活動を行うことができています。		
	内容の妥当性	有・(無)	有・(無)						
効率性	実施主体の妥当性	有・(無)	有・(無)				・イベント以外での費用のかからない啓発活動に取り組む必要があります。		
	受益者負担の適正性	有・(無)	有・(無)						
	経済性	(有)・無	(有)・無						

### 4 ACTION(取組)

事務事業の方向性	取組の方向性(「継続」「延伸」事業のみ)				判断の理由
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 延伸 <input type="checkbox"/> 22年度で終了 <input type="checkbox"/> 休廃止	成果	拡大			環境啓発活動は、コストを抑えた効果的な方法による必要があるため。
		維持	○		
		縮小			
		コスト			
今後の取組内容 ・改善策 ・スケジュールの建て直し等		既存資料を有効に活用し、費用のかからない環境啓発に努めます。			